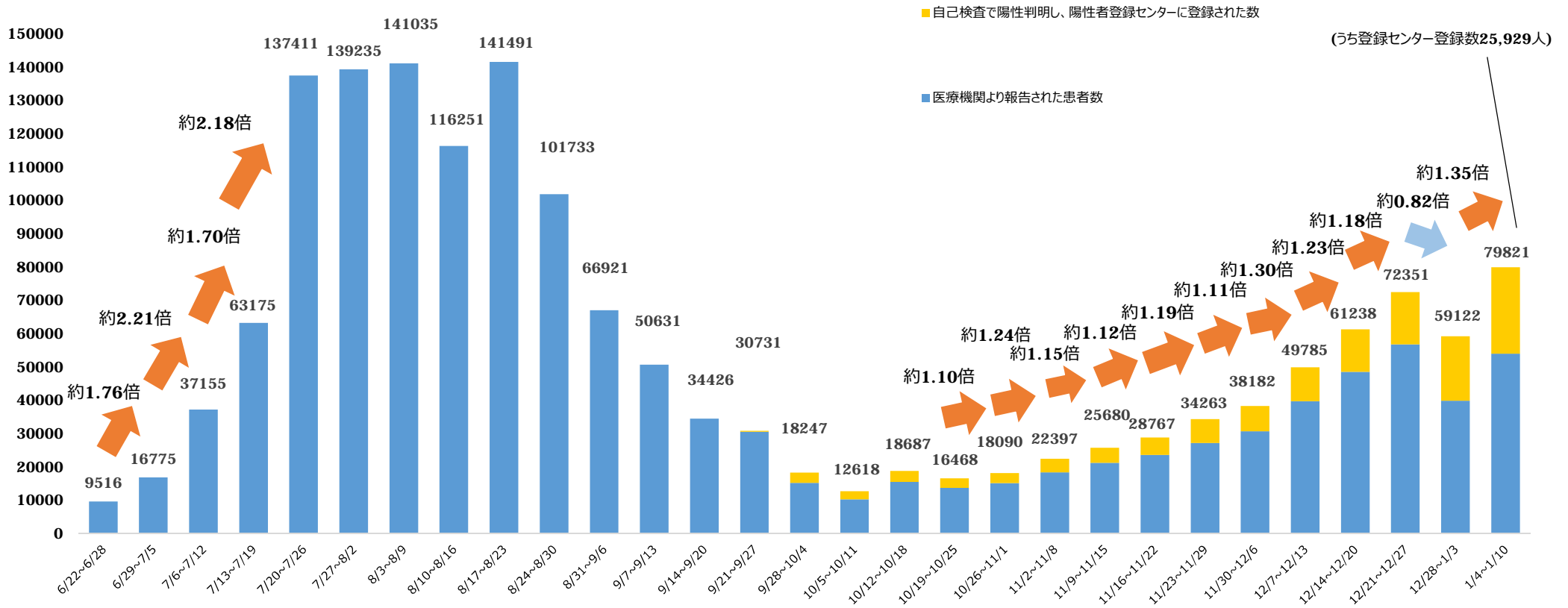


# 7日間毎の新規陽性者数(1月10日時点)

フリップ①

◆ 直近1週間の新規陽性者数は、11,403人/日で、増加傾向(12/28~1/3は年末年始の影響あり)。

(人)



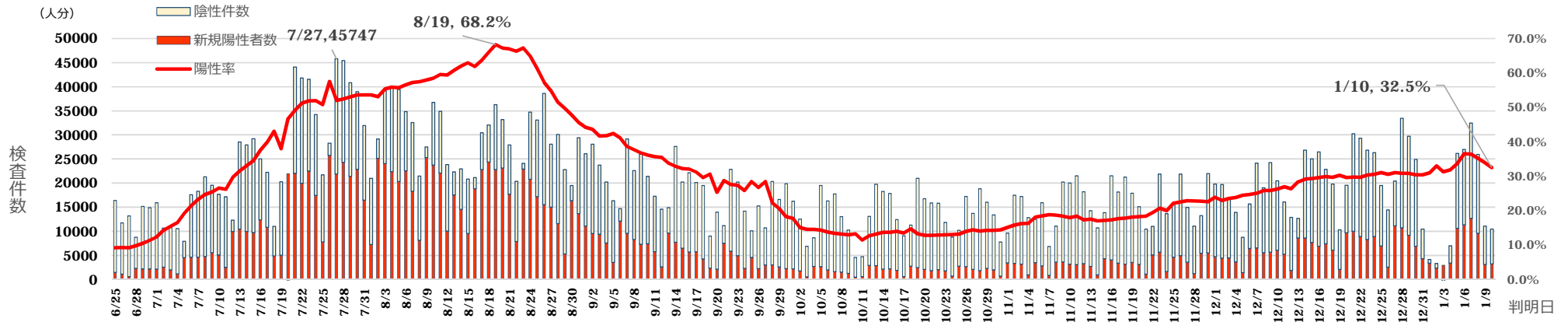
# 検査件数と陽性率（1月10日時点）

フリップ②

◆ 陽性率は1月10日時点で32.5%。

12月26日～1月1日の1週間における陽性判明率は、自費検査は12.4%、無料検査は9.6%と、共に増加傾向。

## 【行政検査】



※令和4年9月27日以降の新規陽性者数は医療機関より報告された患者数

※令和4年9月27日以降の陽性率の算出方法は以下のとおり  
分子：直近1週間で把握した医療機関から報告のあった患者数の合計  
分母：直近1週間で把握した医療機関から報告のあった検査件数の合計

## 【自費検査】

自費検査提供機関（府内に営業所がある自費検査のみを提供する民間会社等）及び新型コロナウイルス検査実施事業者（薬局等）において有料で実施した検査件数

期間	自費検査件数	(参考値) 陽性判明数	陽性判明率
12/12～12/18	3,619 件	257 名	7.1 %
12/19～12/25	3,355 件	288 名	8.6 %
12/26～1/1	2,839 件	353 名	12.4 %

## 【無料検査】

新型コロナウイルス検査実施事業者（薬局等）で実施された検査件数  
(ワクチン検査パッケージ・対象者全員検査等定着促進事業と感染拡大傾向時の一般検査事業の合計)

期間	無料検査件数	(参考値) 陽性判明数	陽性判明率
12/12～12/18	57,329 件	3,936 名	6.9 %
12/19～12/25	72,558 件	5,777 名	8.0 %
12/26～1/1	56,123 件	5,408 名	9.6 %

※このほか、高齢者施設等（入所・居住系）の従事者に対する抗原キット定期検査を実施。

※陽性判明数の中には、府外に発生届が提出されている人や確定診断されていない人も含まれるため、陽性判明数は参考値としている。  
(陽性者数は、国のシステム（HER-SYS）上、行政検査、自費検査、無料検査、のいずれで陽性となったかは区別ができない。)

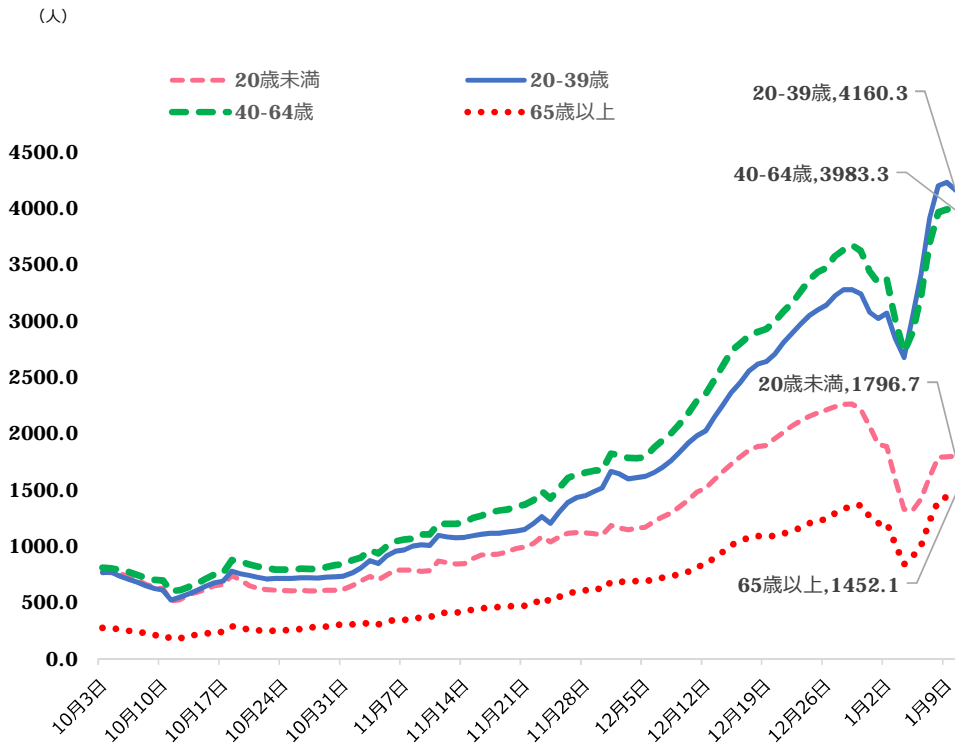
< (参考) 第七波における最大陽性判明率 >

・自費検査…14.6% (8/15～8/21) ・無料検査…10.2%(8/1～8/7)

# 陽性者の年齢区分(1月10日時点)

◆ 直近の年代別新規陽性者数は、全年代で増加が続いている(1月10日は、前日の祝日による影響あり)。

【年代別新規陽性者数(7日間移動平均)】



【年代別新規陽性者数(7日間移動平均) 前日増加比】

	1/3	1/4	1/5	1/6	1/7	1/8	1/9	1/10
曜日	火	水	木	金	土	日	月	火
20歳未満	0.84	0.84	0.99	1.08	1.14	1.10	1.00	1.00
20~39歳	0.93	0.94	1.13	1.13	1.15	1.07	1.01	0.98
40~64歳	0.89	0.91	1.06	1.11	1.15	1.07	1.01	1.00
65歳以上	0.84	0.83	1.08	1.11	1.22	1.14	1.03	1.01

■ 前日増加比が1を超過した日

# ゲノム解析による変異株の検出状況

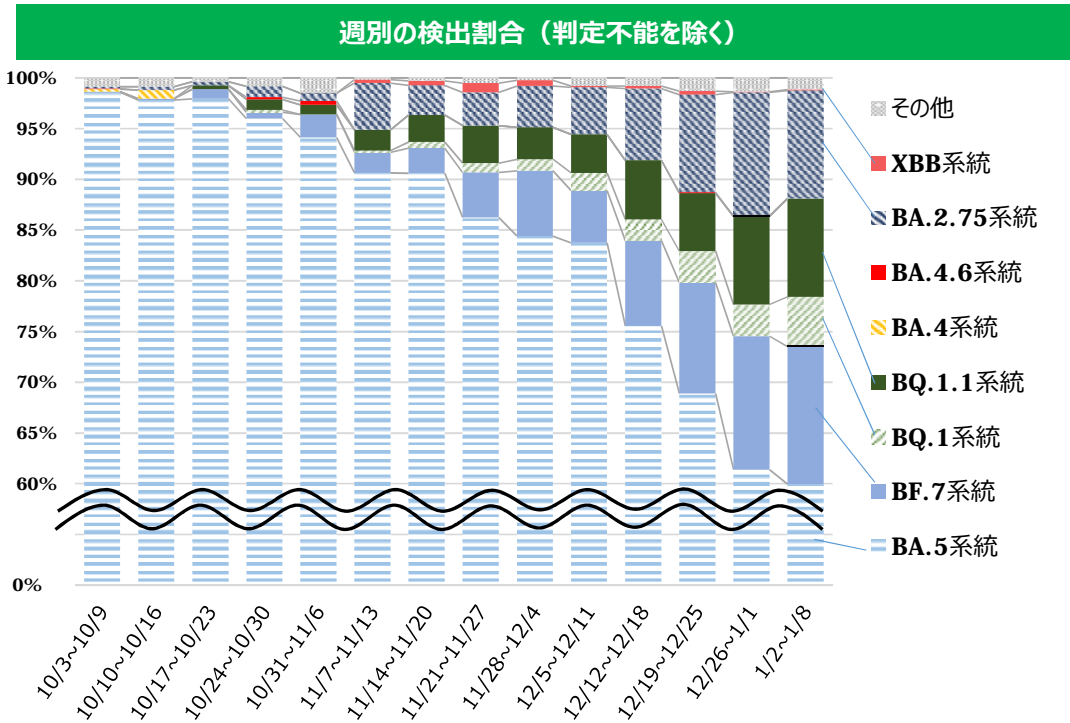
フリップ④

◆ 特定の変異株への急速な置き換わりは確認されておらず、1月2日からの1週間におけるゲノム解析による変異株の検出状況としては、BA.5系統が5割以上、次にBF.7系統が1割強（米国で置き換わりが見られるXBB.1.5系統は0件）。

対象期間 1週間における検出割合		
亜系統 pango lineage	解析件数	検出割合
累計	1,063 件	-
BA.2.75系統	104 件	9.8 %
BA.4系統	0 件	0 %
BA.4.6系統	0 件	0 %
BA.5系統	584 件	54.9 %
BF.7系統	132 件	12.4 %
BQ.1系統	48 件	4.5 %
BQ.1.1系統	94 件	8.9 %
XBB系統	1 件	0.1 %
その他 (BA.2系統等)	11 件	1.0 %
判定不能	89 件	8.4 %

子孫亜系統の件数を含む。(例) BA.2.75系統 → BA.2.75.3.1等を含む  
 (※) 「BA.4とBA.4.6」、「BA.5とBF.7とBQ.1とBQ.1.1」は別々に計上

<亜系統名について>  
 ◆BF.7 = BA.5.2.1.7 ◆BQ.1 = BA.5.3.1.1.1.1  
 ◆XBB = BA.2.10系統の亜系統とBA.2.75.3系統の亜系統の組み換え体

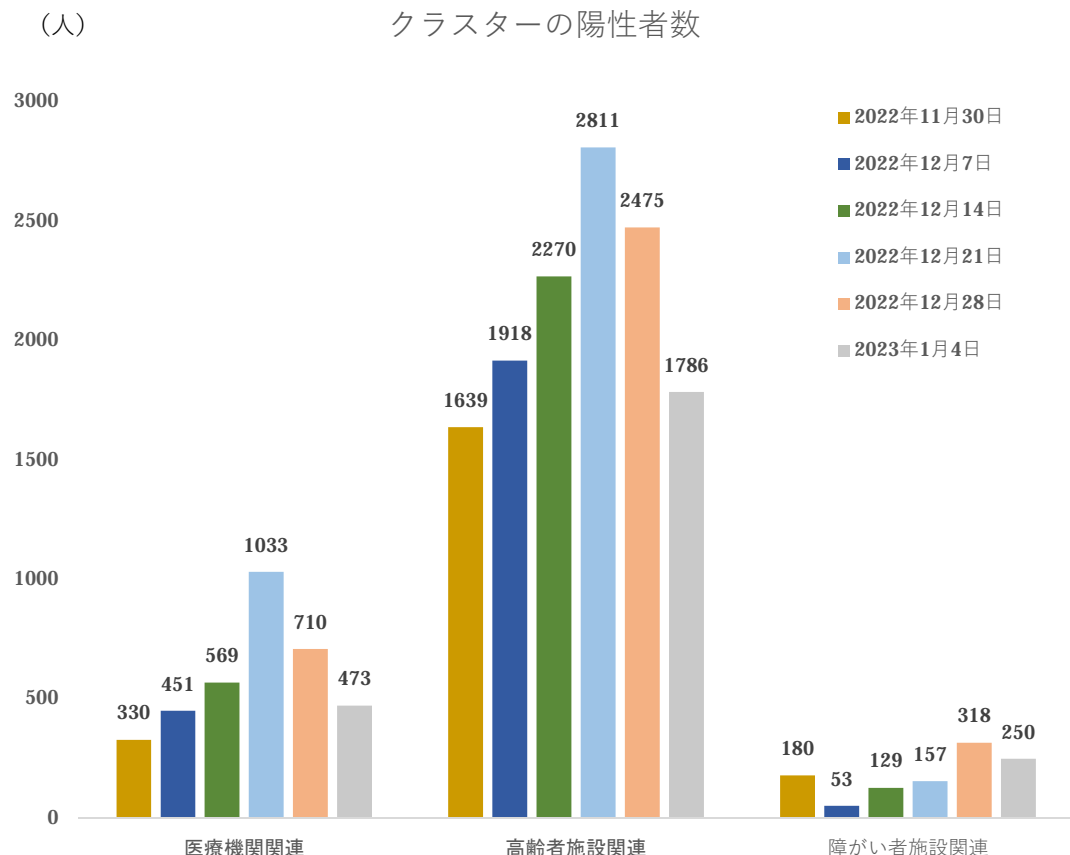
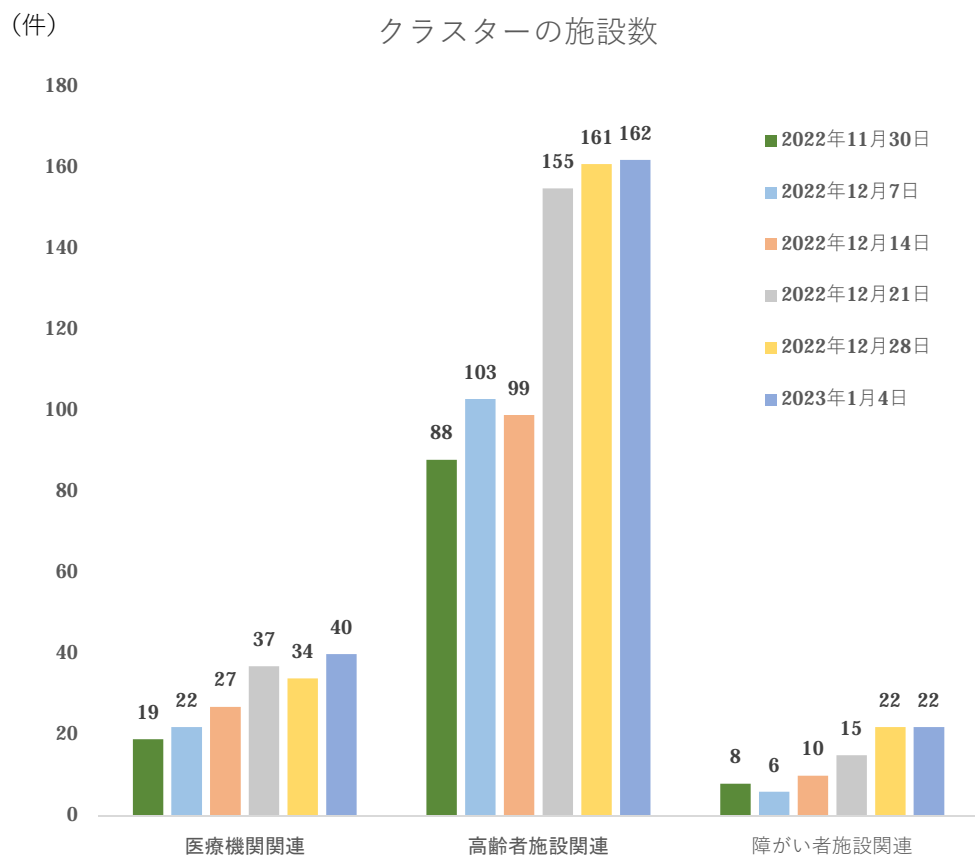


※ゲノム解析はウイルス量の多い検体を対象にしているため、変異株スクリーニング後の全検体に対して実施しているわけではない。

# クラスター状況【実数】（直近6週 週単位）（1月4日公表時点）

フリップ⑤

◆ 12月中旬に発生件数が増加し、その後、同程度のペースで発生している。



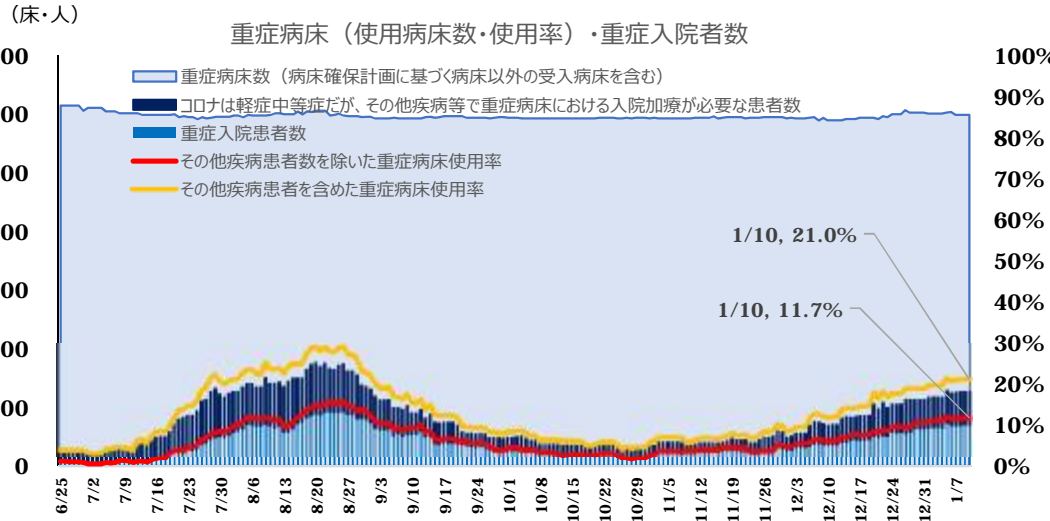
# 新型コロナウイルス感染症患者受入病床の確保状況

◆ 重症病床使用率（コロナは軽症中等症だが、その他疾病で重症病床における入院加療が必要な患者数を除く）は、1月10日時点で11.7%、軽症中等症病床使用率は、1月10日時点で65.6%とどちらも増加傾向。

● 全体病床使用率 **1月10日現在 60.8%**  
**確保病床数 4,943床 入院患者数 3,005人**

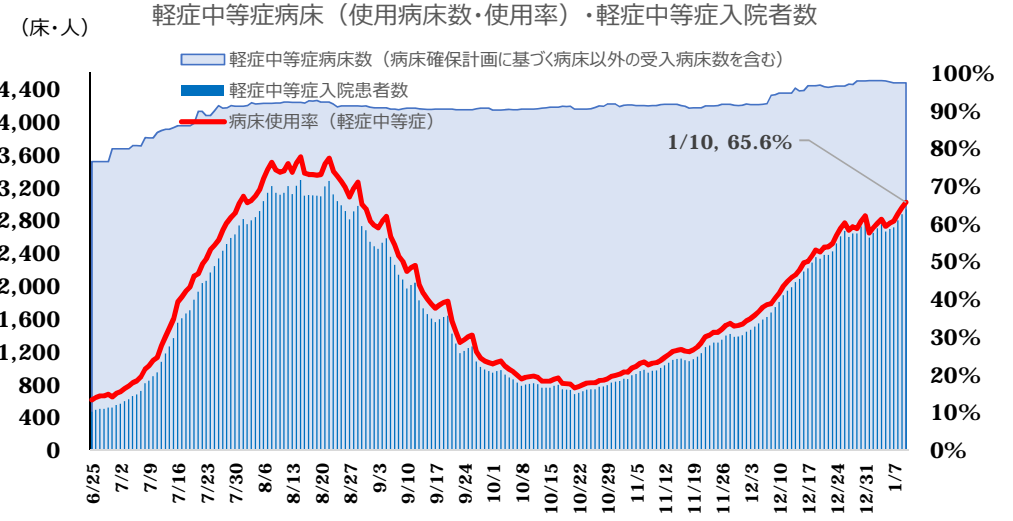
● 重症病床使用率・運用率  
**1月10日現在 病床使用率11.7% (21.0%)**  
**病床数 599床 入院患者数 70人 (126人)**  
**運用率26.7% (48.1%) 運用病床数 262床**

※病床数には、病床確保計画に基づく確保病床以外の受入病床数10床を含める  
 ※（ ）の%、人数は、コロナは軽症中等症だが、その他疾病等で重症病床における入院加療が必要な患者数56人を含めた場合の率と患者数



● 軽症中等症病床使用率・運用率  
**1月10日現在 病床使用率65.6%**  
**病床数 4,474床 入院患者数2,935人**  
**病床運用率71.0% 運用病床数 4,132床**

※病床数には、病床確保計画に基づく確保病床以外の受入病床数51床を含める  
 ※患者数には、コロナは軽症中等症だが、その他疾病等で重症病床における入院加療が必要な患者数56人を含める。



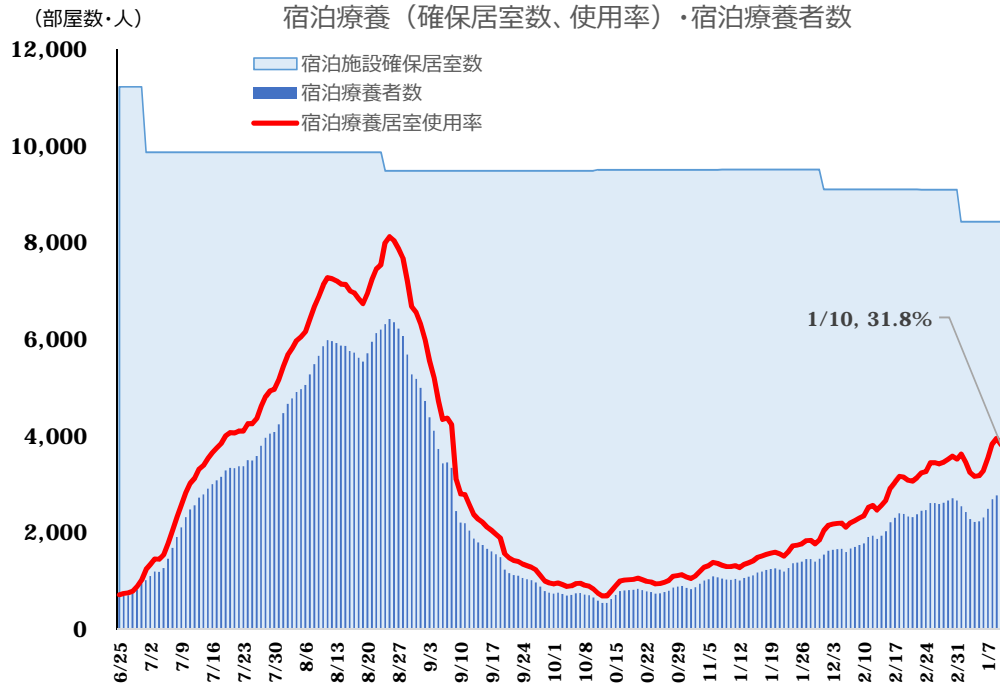
- ◆ 宿泊療養施設居室使用率は、1月10日時点で31.8%と増加傾向。
- ◆ 1月10日時点の自宅療養者数(参考値)は80,480人で増加傾向。

## ● 宿泊療養施設使用状況

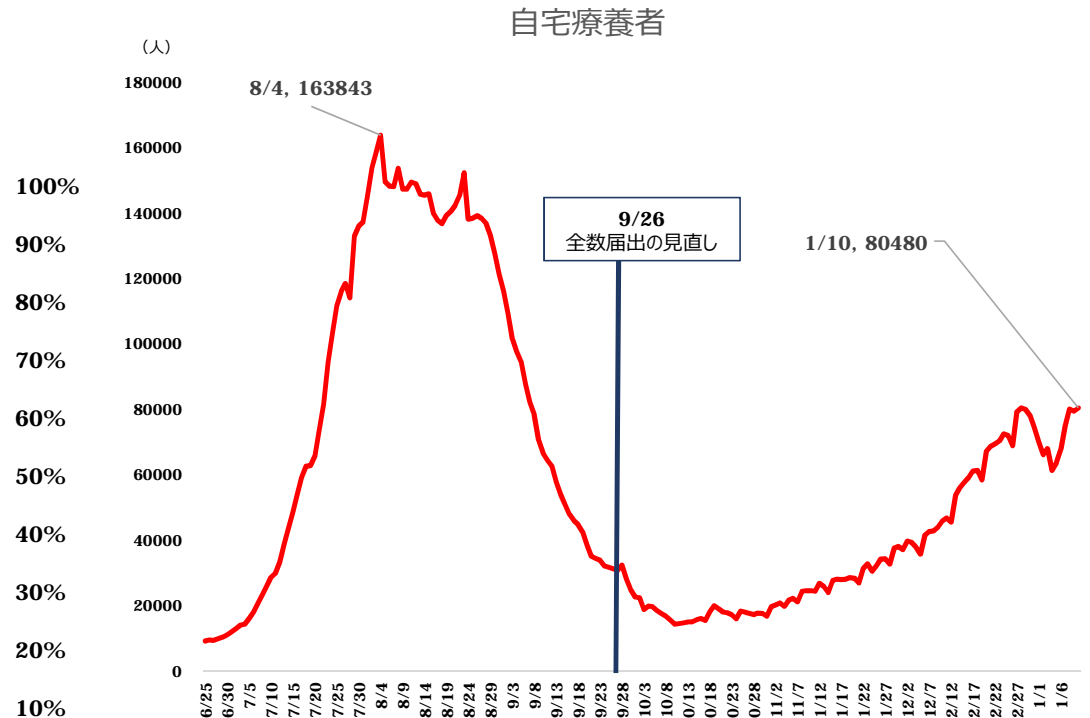
1月10日現在 **使用率31.8%**

居室使用数8,429室 療養者数 2,679人

**運用率43.3%** (運用居室数6,192室)



## ● 自宅療養者数(参考値)

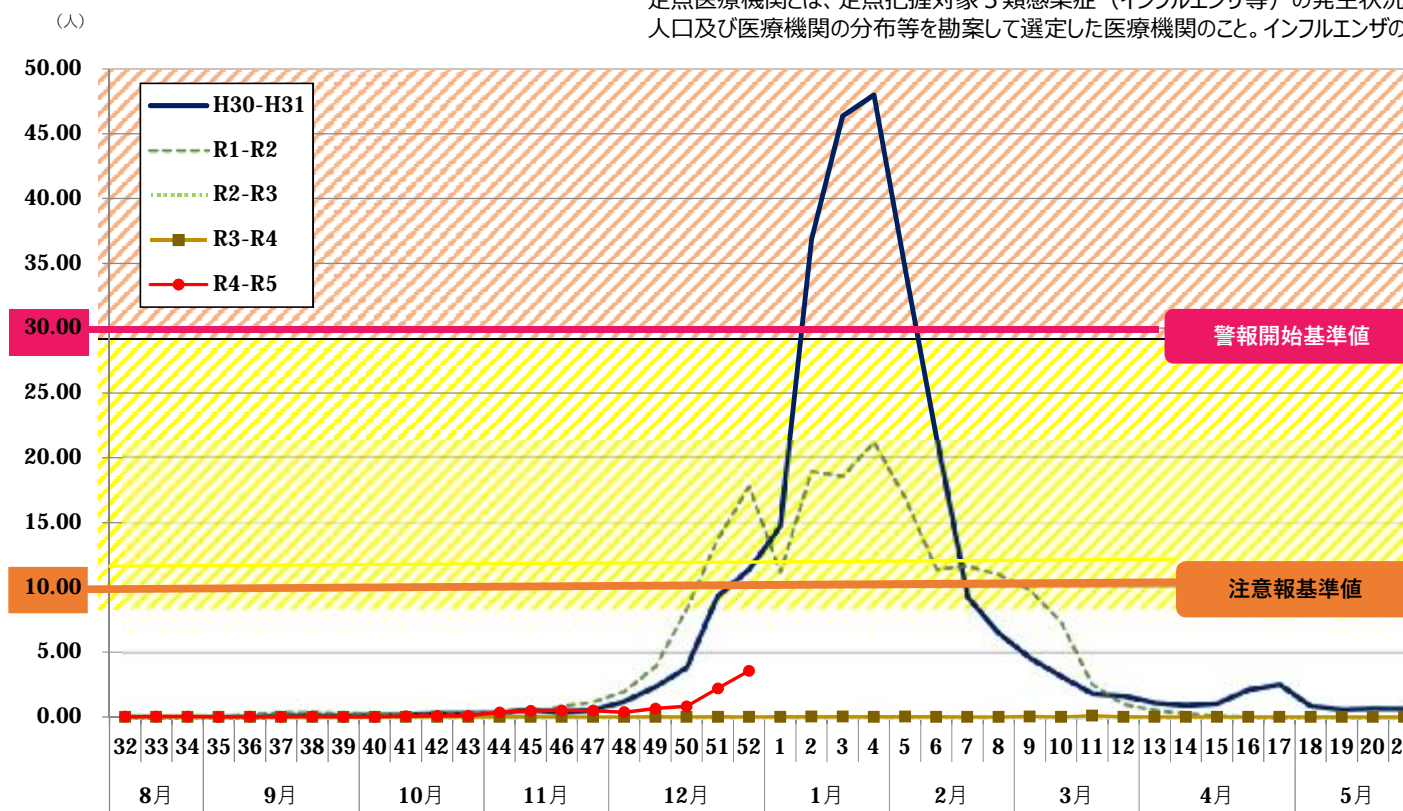


※令和4年9月27日以降は参考値。  
 「公表日から7日前までの陽性者数 - (公表日時点の入院者数 + 公表日時点の宿泊療養者数)」で算出。

# インフルエンザの流行状況 (大阪府における定点あたりの患者報告数※の推移)

◆ 今年の第52週(12月26日～1月1日)では3.73で、前週の2.21から増加。

※「定点当たりの患者報告数」とは、定点医療機関からの総患者報告数を定点医療機関数で割った数のこと。  
 インフルエンザの流行期入りの目安は「1」。  
 定点医療機関とは、定点把握対象5類感染症(インフルエンザ等)の発生状況を地域的に把握するため、  
 人口及び医療機関の分布等を勘案して選定した医療機関のこと。インフルエンザの定点医療機関数は「300」。





感染拡大が続いています 赤信号点灯中 - 病床使用率60.8% -  
(うち軽症中等症病床使用率65.6%)

# 府民のみなさまへのお願い

## ● 感染予防対策の徹底

## ● 早期のワクチン接種の検討

- 新型コロナワクチン接種
- インフルエンザワクチン接種

## ● 検査キット・解熱鎮痛薬の備蓄

重症化リスクの低い方(※)は、自己検査を

(※) 65歳以上、重症化リスクのある方、妊婦、小学生以外の方

- 検査キット配布センターでキットを無償配布(重症化リスクの低い方で有症状者が対象)
- 自己検査でコロナ陽性判明時は、陽性者登録センターに登録
- 受診を迷った場合は、電話相談窓口(受診相談センター等)を利用
- 症状が重い場合など受診希望時は、診療・検査医療機関を受診

重症化リスクのある者：悪性腫瘍、慢性呼吸器疾患（COPD等）、慢性腎臓病、心血管疾患、脳血管疾患、喫煙歴、高血圧、糖尿病、脂質異常症、肥満（BMI30以上）、臓器の移植、免疫抑制剤、抗がん剤等の使用その他の事由による免疫機能の低下の者等

# 大規模地震への備えについて

フリップ⑩

平成7年1月17日、阪神・淡路大震災が発生しました。  
大規模地震の教訓を忘れず、災害から身を守るため地震への備えを確認しておきましょう。

## 備え!

### ■ハザードマップの確認

▶自宅や勤務先の最寄りの避難先を  
事前に確認しておきましょう。

(おおさか防災ネットでも閲覧可)



### ■家具の転倒防止対策

▶家具は倒れないよう、  
壁に固定したり、向きや配置を  
工夫したりしましょう。



### ■災害用伝言ダイヤル(171)の活用

▶災害用伝言ダイヤル(171)は、  
「防災とボランティア週間」(1月15日~21日)に  
体験利用ができます。



## 行動!

■地震がおきたら、まず身を守る行動を!机の下などにすぐに隠れましょう。

■揺れがおさまったら、沿岸部や地下街にいる人は津波に備え高いところへ避難しましょう。



# 令和4年度 大阪府地震・津波災害対策訓練について

フリップ⑪

大阪府では、令和5年1月17日（火）に関係機関と連携し、大規模訓練を実施します。

## 訓練想定

休日の午前中に南海トラフ巨大地震発生、その後大津波警報発表（震源地：和歌山県沖、M9.1、府域最大震度：6強）

## 重点目標

- ① 発災直後の府庁全体の初動体制の確立
- ② 発災48時間後における関係機関との連携による迅速な応急対策実施体制の確立

## 主な訓練内容 ①

○早期の初動体制確立のため、発災直後の場面を想定した「災害対策本部会議」の運営訓練を実施

### <本部会議の概要>

- ・地震・津波情報等の報告
- ・被害状況等の報告
- ・貝塚市長とのテレビ会議
- ・対処方針の決定

## 主な訓練内容 ②

関係機関20団体が集結し、救助・救出活動、応急復旧及び被災者支援の手順確認・検証

大阪府危機管理センター（新別館北館）		
4階	会議室	被災者支援に係る情報共有会議（8団体）
2階	危機管理センター	ライフライン機関調整会議（8機関）
		広域防災連絡会議・航空運用調整班（4機関） 災害対策本部事務局会議
1階	災害対策本部会議室	災害対策本部会議

災害はいつ発生するかわかりません。日頃からの備えを万全にしましょう。